

NEWS

緑のかけはしは政務活動費の領収書を公開しています！

富山市議会はじめ各地の議会で政務活動費の不正には、市民の皆さんも大きな関心を寄せておられます。

尼崎市議会でも、24年前の1992年9月の新聞報道を皮切りに、当時の議員が全員、出張旅費の架空請求や、目的外の出張などをしていたことが次々に明らかになりました。それは「カラ出張事件」と呼ばされました。

市民の追及により、翌年5月、市議会は解散。出直し選挙が行われて、議員の3分の2が新人になるという大変革となりました。

出直した議会の最大のテーマは当然、「議会改革」でした。尼崎市議会の個人の出張制度、市バスなどの無料乗車券、費用弁償などの議員特権が廃止、または大幅に縮小されました。

政務活動費（当時は政務調査費）の制度も、その時大幅に改正され、その後も改正を重ねて今日を迎えます。

政務活動費の支出は、会派内でのチェック、次に、議会事務局のチェック、そして最後には公文書として公開されて市民のチェックを受ける、という仕組みになりました。三重のチェック体制です。しかし、現在でも、議長に報告された領収書などを市民の皆さんに見ていただくためには、公文書公開請求をしていただく必要があります。

私たち「緑のかけはし」は、市民への公開をより進めることによって、政務活動費などの使い道の正しさはより一層保証されるもので、公開はもっと簡単にできるようすべきだと考えています。

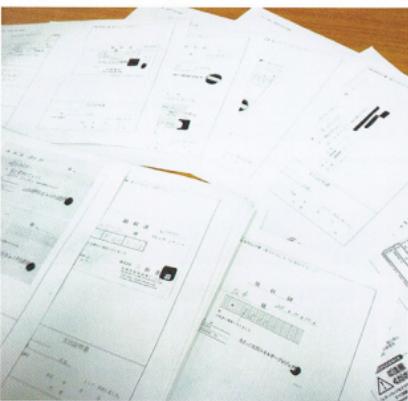
その意味で、私たちは、以前から、自らの会派の分の領収書は会派の部屋に来てさえいただければ公開することにしてきましたが、この度これをさらに進めて、領収書をネット上にも公開することにしました。

公開するサイトは、

<http://midorinokakehashi6950.blogspot.jp/>

及び、会派所属議員のブログ等です。どうぞご覧下さい。出張先や、資料等を見ていたらしくことで、議員の研修や研究の様子を知りていただくきっかけにもなると思います。

詳しくは、お問い合わせいただければご説明します。



公開する政務活動費の領収書



新年度予算への要望書を提出しました

2016（平成28）年 11月 28日

尼崎市長 稲村 和美 様

尼崎市議会 会派 緑のかけはし

2017（平成29）年度 尼崎市予算に対する要望書

2017（平成29）年度予算に以下の事項を盛り込まれるよう申し入れます。

記

1. 防災施策における男女共同参画の視点を徹底するために、復興局男女共同参画班のような、専門担当係を配置すること。
2. 信頼関係を構築しながら、継続した支援を行っている気仙沼市を国内友好都市として、交流を深める事業を実施されたい。尼崎市から気仙沼市に復興支援のために派遣された全市職員の活動や実績を広く、市民に周知する機会を持たれたい。
3. 非正規職員の平均人件費が、正規職員との比較においてかなり低い水準にある状況など、現状の差別的人事制度の課題を検証し、賃金及び人事制度全般の抜本的見直しに着手されたい。
4. 外郭団体等の経営合理化に向け、整理統合等に係る今後の計画を明確に示されたい。
5. 尼崎城の将来にわたる維持・管理コスト等を明確に示し、城の運営・用途等に関しては、幅広く市民からの意見を聴きながら進められたい。
6. 男女共同参画施策を講じる必要性、その背景や課題を理解するため、男女共同参画に関する職員研修を充実させること及び、専門家を招き、徹底した男女共同参画の視点を学ぶ機会を作られたい。
7. 第3次男女共同参画計画の策定を機に、全戸配布の男女共同参画リーフレットの発行や、市報における特集号を設けられたい。
8. がん検診に、集団での前立腺がん検診（PSA検査）を新たに追加することを検討されたい。
9. 今年度終了予定の、生活困窮者自立支援等における兵庫県弁護士会所属弁護士によるボランティアでの市民相談について、来年度以降も引き続き無料相談活動を実施、拡充できるよう、弁護士への報酬支給等を検討されたい。
10. たばこ対策基本方針を検証すること及び、駅前周辺の受動喫煙とポイ捨て防止のため、喫煙禁止エリアを設けられたい。
11. 子どもの貧困救済とひとり親家庭の生活困難の救済施策を講じるために、市独自の実態調査を行い、その結果をもとに、子どもの貧困対策に関する計画を策定されたい。
12. 市内で準備、開設されている「子ども食堂」について助成、補助等を行われたい。その際、校区限定などではなく、自由に参加できる仕組みづくりを検討されたい。
13. 父子手帳を発行されたい。母子手帳の改訂と合わせ、同じ内容と装丁で、父親対象のものを新たに作られたい。
14. 子育て支援策として、早急に児童ホームとして利用できるスペースを確保し、民営児童ホームの育成事業を実施されたい。
15. ベイコム体育馆のメインアリーナ観客席シート張替え、格技室の空調設置工事をされたい。
16. 武庫川河川敷のベンチ増設、遊戯具の塗替え、階段手すりを設置されたい。
17. 「宅幼老所」について研究等を行い、制度としての確立を図られたい。
18. 障がい者への虐待防止・差別解消に関する専門的な対応・相談窓口（センター）を設置されたい。
19. 県との共同事業である小規模多数利用建築物耐震診断補助を追加されたい。またこれにより、旧耐震基準の医療法人、社会福祉法人施設等の耐震診断を促進されたい。
20. 公民館が、市民の交流や生涯学習の場として質の高いサービスが提供できるよう、効果的な運営方法等に向けた検討を行われたい。
21. 幼稚園・保育所での実費徴収の実態を把握し、適切な実費徴収となるようチェック体制を構築するとともに、当該実費負担の保護者負担軽減が図られるよう、さらに努力されたい。
22. 朝鮮学校の修学補助金を早急に14万円に引き上げられたい。
23. 選挙管理委員会、公平委員会、農業委員会の委員の報酬体系を、日額報酬制に見直されたい。



稲村市長（写真向かって右）に要望書を提出する緑のかけはし所属議員（左から須田、都築、田中、酒井、弘中、北村）

以上

緑のかけはし 所属議員から

さか
い
酒井

はじめ

緑のかけはし 幹事長

6期目・経済環境市民委員会委員 66歳

● <http://shimin.asabio.jp/blog/>

議会改革、もっと先の目標

議会改革というと、政務活動費などの議員特権の排除のことのように言われます。もちろん、それは大切です。ですから私たちは、会派の政務活動費の領収書をネット上で公開することにしました。

しかし、議会改革の最終目標は、もう一歩進んで、議会が本来の役割をより良く果すことです。本来の役割とは、市民代表としての市の意思決定と行政のチェックです。

昨年度私は、「議会のあり方検討委員会」に加わって、決算審査方法の改善を図りました。

決算審査はこれまで、「予算のお金の使い方が正しかい」を

見るという形式が中心でした。本来議会がやるべき政策審査、つまり「市の施策の効果、改善点、必要性。」などの検討いわゆる「事業たな卸し」のような仕事、はどちらかというと副次的に扱われていました。

これで、決算議会のやりかたを政策審査中心に変えることができました。

実施は来年7月以降ですが、その目的が果されるように働きたいと思っています。



たなかじゅんじ
田中淳司

緑のかけはし 副幹事長

2期目・建設消防企業委員会委員 42歳

● <http://junt.blog.eonet.jp/>

● <https://www.facebook.com/tanakajunje>

パブリックコメントに込められた想いを無駄にしない

市役所には、条例や計画などを決めようとする際に、予めその案を公表し、市民等から意見を募集する、パブリックコメント（市民意見公募手続き。以下、パブコメと略す。）制度があります。提出された意見には「参考とする」「すでに盛り込み済み」などの回答が行われます。

市議会からのあて職で、尼崎市社保障障害者福祉等専門分科会委員を務めた時、過去の尼崎市障害者計画・障害福祉計画のパブコメ数が少なかったことから、みんなが集まり、その場からメール等でパブコメを提出するイベント「みんなで

一緒にパブコメだそう！」を思いつき、市民有志とともに実施したところ、平成21年度は19件だった同計画へのパブコメは、平成26年度は309件になりました。

ガス抜きと揶揄されることもあるパブコメですが、私は当該案件の進捗状況等を質していくための、重要なテキストだと考えています。

これからも、組織や政党に入っていない、普通の市民の声を市政に届けます。



ひろなかのぶまさ
弘中信正

緑のかけはし 政調会長

3期目・経済環境市民委員会委員 64歳

● <https://www.facebook.com/nobumasa.hironaka>

保育施設の耐震工事を計画的に推進を

尼崎市の全ての中高等学校の耐震化工事が、来年度で終了します。東日本大震災を超えるM9クラスの南海トラフ巨大地震が懸念されるなか、子供たちの命を守り、学校施設を地域防災避難の拠点とするため、市長が最重点に実行したことは歓迎したいと思います。

一方で、公立や民間保育園では、その耐震化率が全国平均と比較して極めて低いことが、私の6月議会質問で判明しました。

市の答弁では、平成26年時



点で全国保育所耐震化率83.3%に対して尼崎市は43.0%です。とくに公立保育所では、全22園施設の内で基準達成施設は9園と約41%です。

民間保育園では59園中で36園と、今年度末で約61%が耐震化ができそうですが、それでも未耐震施設は23園です。詳細な実態調査がなされず、財政基盤の脆弱な民間保育園に、耐震診断の費用負担や工事時期の適否の判断を任せているのは問題です。市は耐震化は「早急に改善すべき課題」と答えました。保護者の不安を取り除くためにも、保育園と協議しながら計画的に耐震化工事を推進するべきだと訴えました。

つづき のりあき
都築 徳昭

3期目・総務委員会委員 63歳

● <https://www.facebook.com/noriaki.tsuduki>**公共調達基本条例が制定される**

公共調達基本条例は、市が工事や業務委託、指定管理を行う場合に契約を交わすことを公契約と言いますが、価格のみの競争でなく働く人の労働環境やまちづくり、障がい者雇用などを評価し落札者に決定する条例です。残念ながら労働者の最低賃金を決める賃金条項がありませんが、労働者の処遇についてすべての下請事業者に社会保険や労働衛生法を守っているのかチェックする仕組みを決めています。また、仕事の質の向上、市内企業への優先発注など「安かろう悪かろう」を防ぐ条例でサービス向上につながるものです。

自転車の利用しやすい街へ

尼崎市は平坦で自転車の利用しやすい街ですが、自転車政策が遅れていたために放置自転車や自転車盗難、自転車事故の多い街でした。こうした都市課題を都市魅力へと動き出しました。放置自転車の解消、交通ルールの遵守や自転車条例の制定に向けた取り組みとハード面では人、車、自転車の走行空間を分離する自転車ネットワークの道路改良などが進んでいます。

阪急武庫之荘駅周辺の放置自転車台数の推移（10時ごろ）

H25	H26	H27	H28
911	735	330	25

出典：尼崎市

すだ むつみ
須田 和

2期目・健康福祉委員会委員 60歳

● <http://suda-mutsumi.com/>● <https://www.facebook.com/mutsumi.suda.7>**「セクハラはありますか？」**

都議会で、女性の議員に対して発せられた「結婚しないのか!?」というヤジ事件以来、「尼崎市議会ではどうですか?」という質問をよく受けるようになりました。就任以来、議場や委員会での私の発言に対して、また、行政視察等の公務の中では、セクハラ発言は一度もありません。

セクハラは身体への不必要な接触だけではありません。東京都議会の例のように結婚や出産に関すること、容姿や生活などについて、言葉で、相手に不快感や不利益を与えることが、職場だけに限らない人間関係において、問題になっています。「男性だったらこんな言い方や、こんな扱いはされないはず」

ということは、私も経験していますし、ご相談も多いです。

女性センター時代にはセクハラや人権研修講師を務めていましたので、親身にご相談をお受けしています。市議会でも研修し、議員が地域や職場の範囲ならねばなりませんね。



きた むら たけし
北村 竹師

1期目・文教委員会委員 66歳

● <https://www.facebook.com/takeshi.kitamura.1447>**尼崎城の建設について**

尼崎城建設については、平成27年11月25日付け「尼崎城の建設及び寄付に関する協定」を尼崎市長と寄付者である旧ミドリ電化（現エディオン）創業者の安保 譲氏（10億円の寄贈）との間に締結されました。

安保氏から尼崎城について、子供からお年寄りまで歴史を学べ、楽しめる場所を提供したい、未永く市民に愛されるよう整備したいという意向が寄せられました。

市としても尼崎城について本市の歴史的な地域のシンボルとして活用のみならず、城内地区や寺町、さらに商店街などもめぐっていただくための観光資源としても期待できるもの

と考えています。

そして、より良いお城づくりの費用や維持管理費を捻り出るために、市民に寄付を呼びかけ真の「市民のお城」造りを考え、「一口城主制度」を設けることを提案しています。

最後に、寄付をして頂いた安保氏に感謝と敬意を表したいと思います。



<尼崎城・今後のスケジュール>
平成28年 尼崎城着工（設計委託）
平成29年 尼崎城址公園整備
平成30年 尼崎城竣工